



MESSAGE NOTES

心からの祈り

歴代誌 第二 7:14

ロイド フラハティ

歴代誌 第二 7章 14節

わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒やす。

1. 当時 この御言葉はいなごの被害や、疫病、天災、戦争危機の時代に書かれました。

- ソロモンの祈り

歴代誌 第二 6章 28～31節

28 この地に飢饉が起り、疫病や立ち枯れや黒穂病、いなごやその若虫が発生したときでも、敵がこの地の町々を攻め囲んだときでも、どのようなわざわい、どのような病気であっても、29 だれでもあなたのお民イスラエルが、それぞれ自分の疫病や痛みを思い知らされて、この宮に向かって両手を伸べ広げて祈るなら、どのような祈り、どのような願いであっても、30 あなたご自身が、御座が据えられた場所である天から聞いて、赦し、一人ひとりに、そのすべての生き方にしたがって報いてください。あなたはその心をご存じです。あなただけが、すべての人の子の心をご存じだからです。31 そうして、あなたが私たちの先祖にお与えになった大地の上で彼らが生き続ける間、いつもあなたを恐れて、あなたの道に歩むようにしてください。

2. 神様の反応

歴代誌 第二 7章 14節

わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒やす。

a. 現代での神の民とは？

イエスが死からよみがえられた後、「わたしの民」は神に信頼を置き、神の名を呼び求めるものは誰でも神の民に含まれるようになりました。

b. へりくだり、祈りをささげる

私達は、自力で自分自身を救う力がないことを認めることを求められています。

c. 悪の道から立ち返る一神の民は進む方向を変えることを求められている。

ヨハネの手紙第一 1章 9節 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は眞実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

d. 私たちの地を癒してくださる

当時：物理的な地の癒し

今日：靈的な「地」私たちの市民権は天に。

3. 神様が私たちの心の王

私達が向きを変えてイエスについていくことによって私達はイエスを人生の主としているのです。イエスは私達に場所を用意してくださっています。それはこの世のものではありません。

ヨハネの福音書 14章 2節

わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

まとめ：世界が激変するときでも、神様の私達への救いのメッセージは変わりません。

神様はこう言っています：わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒やす。（歴代誌 第二 7章 14節）

これが当時と変わらず今まで続く救いの祈りです。